

都市再生整備計画 事後評価シート
八橋周辺地区

平成30年3月

愛知県知立市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	知立市		地区名	八橋周辺地区		面積	540.0ha			
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	567.4百万	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路:市道八橋町109号線(〔都〕花園八橋線) ・公園:(仮称)才兼池公園 ・地域生活基盤施設 案内誘導施設設置(情報板) 										
		提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(歴史案内散策マップ作成(旧東海道・鎌倉街道周辺地区)) ・地域創造支援事業(観光シャトルバス社会実験(八橋周辺地区)) 										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高質空間形成施設(市道牛田町20号線) ・高質空間形成施設(道路修景施設)(カラー舗装) 		削除/追加の理由 ・知立市として財政面から有利な補助事業に変更し、関連事業として実施する。 ・通学路の安全点検で危険箇所となり、早急な整備が必要となったためH25年度に市単独事業によりカラー舗装を施工したため、補助事業から関連事		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ・関連事業への事業区分の移行であり、事業内容に変更は無いため、目標・指標に影響はない。 ・関連事業への事業区分の移行であり、事業内容に変更は無いため、目標・指標に影響はない。						
		提案事業	-		-		-						
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-		-						
		提案事業	-		-		-						
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	観光ガイドツアーの参加者数	(人/年)	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	H23	1,370	H29	1,490	H29				
	指標2	地区内の1人当たりの公園面積	(㎡/人)	3.1	H23	3.3	H29	3.4	○	あり	-	対象となる「祭り」の開催時に、「かきつばた園」までの観光シャトルバスを運行する社会実験を実施したほか、主要施設となる「かきつばた園」や「知立公園」を対象に、安全なルートで案内誘導するための看板設置、多目的トイレの設置、駐車場の整備等を施し、来訪しやすい環境を創出した。その結果、主要施設への来訪者が増加し、観光ガイドツアーの参加者数の増加に繋がったと考えられる。今年、観光ガイドの際に配布を予定しているほか、商業施設やサービスエリア等の市内外の集客施設での配布を予定している散策マップも完成することから、更なる受入環境の向上が考えられる。	平成30年8月
	指標3	交通事故件数	(件/年)	109	H23	100	H29	98	○	あり	-	地区内道路の交差点部や歩道未設置区間において、カラー舗装化等の安全対策が実施されたほか、「かきつばた園」への安全な歩行ルートの誘導に向けた案内誘導看板の設置等により、地区内の交通環境が向上し、交通事故件数の減少に繋がったと考えられる。さらに、近接都市との連続性を高めるための道路の整備が進められており通過交通が減少することにより、さらなる安全性向上が期待される。	平成30年8月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1		基準年度		目標年度		モニタリング	評価値					
4)定性的な効果発現状況	・整備した案内誘導施設や関連事業で施設整備を施した「知立公園」などがルート上に位置する「東海道宿場町散歩みち」が、交付対象期間内に『新日本歩道紀行100選文化の道』に選定されるなど、知立市を代表する観光ルートとして認知が進みつつある。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	地域住民の緑化意識の高揚を図り、積極的に地域の緑化を推進するため、才兼池公園において高木、低木の植栽及び芝生張りを行う。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				地域住民の憩いの場として活用されるよう、施設の維持・管理に地域住民が主体的に参画できるような体制の構築を目指す。						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

八橋周辺地区 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:人々が安心して集い、地域の歴史・文化を感じながら楽しい時間を過ごせる地域づくり ○目標①:人々に安らぎを与える公園や歴史が薫る回遊性の高い道路空間の創出による、交流豊かなまちづくり ○目標②:自動車交通の円滑性と歩行者の安全性が確保され、全ての人が安全に安心して生活できる交通環境づくり	観光ガイドツアーの参加者数	単位:人/年	1,370	H23	1,490	H29	1,670	H29
	地区内の1人当たりの公園面積	単位:m ² /人	3.1	H23	3.3	H29	3.4	H29
	交通事故件数	単位:件/年	109	H23	100	H29	98	H29



地域創造支援事業 観光シャトルバス社会実験



地域生活基盤施設(情報板) 案内誘導施設設置



■高貴空間形成施設(カラー舗装) 道路修景整備

■公園(仮称)才兼池公園整備

■地域生活基盤施設(情報板) 案内誘導施設設置

■道路(街路) 市道八橋町109号線(郡)花園八橋線

□地域創造支援事業 歴史案内散策マップ作成

□地域創造支援事業 観光シャトルバス社会実験

○関連事業 牛田町20号線

○関連事業 知立公園

○関連事業 牛田町西中線



(仮称)才兼池公園



市道八橋町109号線(郡)花園八橋線

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○国道1号から八橋かきつばた園までの観光ルートへの案内誘導施設(情報板)の設置や、観光ルート上の歩道未設置区間へのカラー舗装化などにより回遊性や安全性の向上が図られたほか、観光シャトルバスの社会実験の実施により交通利便性が向上した。 ○才兼池公園の新設および地区内の公園・緑地整備により公園面積が増加したほか、知立公園において多目的トイレや駐車場が整備され、利便性向上が図られた。 ○市道八橋町109号線(郡)花園八橋線の整備が進められることで、流入交通等の円滑化が図られる。 ○牛田町20号線などの地区内道路の交差点部や歩道未設置区間において、カラー舗装化等の交通安全対策を実施したことで歩行者等への安全な交通環境が確保された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客に対する受入環境の充実に向け、観光資源の由来などが来訪者に伝わりやすくなるPR手法を検討するとともに、安全なまち歩き環境の維持・充実を図る。 ○来訪者の満足度向上に向け、地域に点在する観光資源の魅力を高めるため、効果的な施設整備を行う。 ○公園の利用者に対し、継続的に親しいと利便性を提供できるよう、整備した公園の適切な維持管理及び、既存施設の利便性の向上を図る。 ○安全な歩行空間の確保に向け、危険箇所等に関する継続的な情報収集に努めるとともに、対象箇所に対する安全対策を検討する。 ○才兼池公園の整備等により、1人当たりの公園面積は増加したものの、県平均と比べ少ない状況であることから、今後も適切な箇所への公園整備を検討する必要がある。 ○地区内での流入交通等のさらなる円滑化に向け、八橋周辺の交通ネットワークの構築を図る。